

—川崎市市民ミュージアム 2018年1月～3月の企画展—

# MJ's FES SINCE 1958

## みうらじゅんフェス! マイブームの全貌展



「マイブーム」「ゆるキャラ」などの命名者であり、現在の「仏像ブーム」を牽引してきたみうらじゅんは、2018年2月1日で還暦を迎えます。

本展では、みうらじゅんの生誕60年を記念し、「MJ's FES みうらじゅんフェス!」と銘打って膨大かつ深遠な創作活動に迫り、「マイブーム」の起源と全貌を明らかにします。

主 催=川崎市市民ミュージアム  
協 力=みうらじゅん事務所  
制作協力=ARK  
協 賛=株式会社スズヤ  
監 修=みうらじゅん

★5ページ目にみうらじゅん本人からのメッセージも!ぜひご覧ください!

2018年  
1.27<sup>土</sup>～  
3.25<sup>日</sup>

観覧料

一般	800円(640円)
大学生・高校生・65歳以上	600円(480円)

※中学生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金です。

川崎市市民ミュージアム  
企画展示室1、アートギャラリー1・2・3

## 本展のみどころ！

### ● 祝還暦！“みうらじゅん初”となる公立美術館での大規模展覧会

2018年2月1日で還暦を迎えるみうらじゅん。これまで渋谷パルコミュージアム等で開催された展覧会は、彼の珍しいコレクションの一部分を紹介するものでした。今回は、みうらじゅん生誕60年を祝う大規模展覧会として、初めての公立美術館での開催となります。

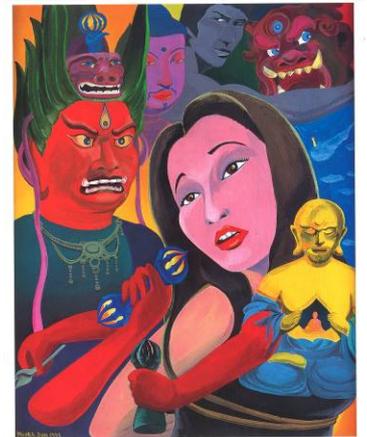


みうらじゅん

### ● 「マイブーム」の全貌を明らかにする！？多彩な展示物

「マイブーム」「ゆるキャラ」などの命名者であり、現在の「仏像ブーム」を牽引してきたみうらじゅん。サブカル界の代表ともいえる存在感を放つ一方、一体彼の本職は何なのか、一体彼は何者なのか——。謎に包まれた存在だと感じている方も多いことでしょう。

今回は幼少期から青年期に自ら編集・制作を手掛けたエッセイ集、漫画、スクラップブック（仏像・怪獣など）から、メジャーデビュー後に発表した本・CD・DVD、映画、仏画イラスト原画、そして、これまで収集してきた珍しい数のコレクションを一挙公開することで、みうらじゅんの膨大かつ深遠な創作活動に迫ります。



ナオミの夢 1995年

### ● 山田五郎氏、いとうせいこう氏・・・ みうらじゅんをよく知る著名人とのトークショーも！

オープニングイベントとして、みうらじゅんと山田五郎氏のトークショーを開催。さらに、関連映画の上映会とあわせて盟友・いとうせいこう氏とのトークショーを開催します。みうらじゅんをよく知る2人を通じ、みうらじゅんの存在を明らかにします。



仏像スクラップ 1969～1971年

### ● みうらじゅん原作・企画の映画4作品を特集上映

映像ホールでは、展覧会連携プログラムとして、みうらじゅんが原作・企画等に携わった映画4作品を上映します。（展覧会と別途有料）

- ◇ 『アイデン&ティティ』 2003年／原作：みうらじゅん
- ◇ 『色即ぜねれいしょん』 2009年／原作：みうらじゅん
- ◇ 『変態だ』 2016年／原作・企画：みうらじゅん  
※[R-18]指定作品のため、18歳未満の方はご入場・ご鑑賞できません。
- ◇ 『ザ・スライドショーがやって来る！「レジェンド仲良し」の秘密』  
2017年／監修：みうらじゅん、いとうせいこう  
出演：Rock'n Roll Sliders（みうらじゅん・いとうせいこう・スライ）他



©2009 色即ぜねれいしょんズ

## 展示構成（予定）

※内容は変更になる場合があります。

### 【1】みうらじゅんの仕事部屋を再現！

### 【2】みうらじゅんの幼少期～青年期

→直筆エッセイ集、漫画、スケッチブック、スクラップブックを大公開

### 【3】いやげ物(※)をはじめとした「マイブーム」コレクションを一挙公開

(※)みうらじゅんが全国各地で採集してきた“みやげ物界のアウトロー”。

### 【4】みうらじゅんデザインのゆるキャラ展示

→みうらじゅんのオリジナルキャラクター「テングレンジャー」との撮影コーナーも。

### 【5】巨大ツッコミ如来立像

### 【6】子どもは禁止！？のマル秘部屋



怪獣スクラップ 1965～1967年

## 作家プロフィール

### ● みうらじゅん



みうらじゅん フォークアルバムカセット  
1973～1982年



フォークギター少年時代

1958年京都市生まれ。武蔵野美術大学在学中に漫画家デビュー。以来、イラストレーター、エッセイスト、ミュージシャンなどとして幅広く活躍。1997年、造語「マイブーム」が新語・流行語大賞受賞語に。「ゆるキャラ」の命名者でもある。2005年、日本映画批評家大賞功労賞受賞。興福寺「阿修羅ファンクラブ」の会長。著書に『アイデン&ティティ』、『マイ仏教』、『見仏記』シリーズ（いとうせいこうとの共著）、『「ない仕事」の作り方』、『人生エロエロなもの』ほか多数ある。93年からみうらが用意したネタ写真をスクリーンに映し、いとうせいこうがツッコむという形式のトークイベントを開催（96年から『ザ・スライドショー』という名称に）。

### ● 近年の主な個展・主催イベント

2014年 「国宝みうらじゅん いやげ物展 in TOKYO」 パルコミュージアム 渋谷パルコ

2016年 「親バカ子バカ展」 TOBICHI

2018年2月1日、2日 みうらじゅん&いとうせいこう ザ・スライドショー14

「みうらさん、還暦かよ！」横浜文化体育館

## 関連プログラム

【★】マークのイベントは当日の観覧券（半券可）が必要です。

### ● オープニング・トーク みうらじゅん×山田五郎 【★】

1月28日（日）15：30～16：45

1F 映像ホール／定員 270 名／当館 HP より事前申込制（応募多数の場合は抽選）

\*1月10日（水）申込締切。抽選結果の発表は1月17日（水）にメールでお知らせします。



#### トークゲスト：山田五郎（編集者・評論家）

1958年 東京都生まれ。上智大学文学部在学中にオーストリア・ザルツブルク大学に1年間遊学し西洋美術史を学ぶ。卒業後、(株)講談社に入社『Hot-Dog PRESS』編集長、総合編纂局担当部長等を経てフリーに。現在は時計、西洋美術、街づくり、など幅広い分野で講演、執筆活動を行っている。

著者に『百万人のお尻学』（講談社+α文庫）、『知識ゼロからの西洋絵画入門』（幻冬舎）、『知識ゼロからの西洋絵画史入門』（幻冬舎）、『銀座のすし』（文藝春秋）、『ヘンタイ美術館』（ダイヤモンド社）、『人生を面白くする「好きになる力」』（海竜社） など

T V：『出没！アド街ック天国』（テレビ東京）『ぶらぶら美術・博物館』（BS日テレ） 他レギュラー出演中。  
ラジオ：『デイ・キャッチ』（TBSラジオ） 他レギュラー出演中。

### ● 学芸員によるギャラリートัวร์ 【★】

2月12日（月・祝）、3月11日（日）、3月21日（水・祝） 各日 14：00～

事前申込不要／当日企画展示室1入口にお集まりください。

### ● ミニホール上映「長髪大怪獣ゲハラ」企画・脚本：みうらじゅん（約21分）

2月12日（月・祝）、3月11日（日）、3月21日（水・祝） 各日 15：00～

3F ミニホール／定員 40 名／当日先着順／参加無料



テングー

### ● ベビーカーツアー 【★】

3月1日（木）11：45～

0歳～未就学児とその保護者／定員 6 組程度／当館 HP より事前申込制 \*2月1日（木）から先着順。

### ● 関連上映&トークショー みうらじゅん×いとうせいこう

3月4日（日）14：00～『ザ・スライドショーがやって来る！「レジェンド仲良し」の秘密』上映後、15：45～トークショー（16：45 終了予定）

1F 映像ホール／定員 270 名

一般 600 円、65 歳以上・大学生・高校生 500 円、小中学生 400 円、未就学児無料

当日 10：30～12：30／13：00～15：00 に 1F 総合受付でチケット販売（先着順）

\*チケットは定員に達した時点で販売終了となります。



#### トークゲスト：いとうせいこう

1984年早稲田大学法学部卒業後、講談社に入社。86年に退社後は作家、クリエイターとして、活字／映像／舞台／音楽／ウェブなど、あらゆるジャンルに渡る幅広い表現活動を行っている。盟友・みうらじゅん氏とは共作「見仏記」シリーズで新たな仏像の鑑賞を発信し、武道館を超過員にするほどの大人気イベント「スライドショー」をプロデュースするなど、常に先の感覚を走り創作し続けるクリエイター。

## 【みうらじゅんからのメッセージ】

私がデビューしたのは世間的に'80年ということになっているのですが、私調べによるとすでに小学一年生から始まっているマイブームの軌跡。今では国宝ならぬ『ボク宝』級価値の“怪獣スクラップ・ブック”制作から実に54年もの時が流れたこととなります。その後、自作の漫画誌、新聞、エッセイ本、アニメに至るまで、誰からも頼まれることない“ない”仕事を続け現在に至っているのですがこの度、川崎市市民ミュージアムでその全貌に迫る展覧会が開催されることになりました。たぶん、みな様はその数に圧倒され、開いた口が塞がらないと思います。

そして、“一体、この展覧会は何なのか？”と、問うことでしょうか。私も同じです。そこは会期中、私の友人によるトークショーで明らかになるであろうと確信しております。

長きに渡る収集癖と発表癖を篤と御覧になってください。よろしくお願い申し上げます。

みうらじゅん展代表 みうらじゅん

### 開催概要

- 展覧会名 企画展「MJ's FES みうらじゅんフェス！マイブームの全貌展 SINCE1958」
- 会 期 2018年1月27日（土）～3月25日（日）
- 休 館 日 毎週月曜日（ただし2月12日は開館）、2月13日（火）、3月22日（木）
- 開館時間 9：30～17：00（最終入館は16：30）
- 会 場 川崎市市民ミュージアム 企画展示室1、アートギャラリー1・2・3
- 観 覧 料 一般800円（640円）、大学生・高校生・65歳以上 600円（480円）、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金です。※障がい者手帳をお持ちの方およびその介護者は無料。

主催＝川崎市市民ミュージアム 協力＝みうらじゅん事務所 制作協力＝ARK

協賛＝株式会社スズヤ 監修＝みうらじゅん

### <川崎市市民ミュージアム 施設概要>

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。



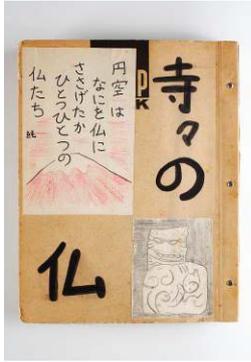
- 住所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2（等々力緑地内）
- 開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日：月曜日（休日の場合は開館）、祝日の翌日（土日の場合は開館）、年末年始
- 観覧料：企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。
- \* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。
- \* 20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス／下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ  
 ・武蔵小杉駅（JR南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線）よりバスで約10分

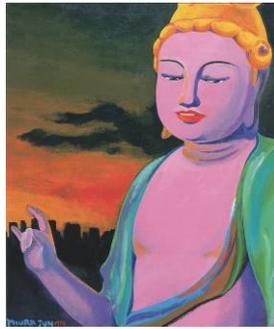
- ・武蔵溝ノ口駅（JR南武線）・溝ノ口駅（東急田園都市線・大井町線）よりバスで約20分
- ・JR川崎駅よりバスで約40分

## 広報用画像

下記一覧および本プレスリリース内にある画像素材は、すべてご提供可能です。  
 使用を希望される方は、下記お問い合わせ先・広報担当宛にご連絡ください。



仏像スクラップ 1969~1971年



フェロモン慕情 1995年



グラビア・ガエル  
2002年



甘えた坊主



『アイデン&ティティ』  
©2003『アイデン&ティティ』製作委員会



メインビジュアル（横位置）  
クレジット不要



メインビジュアル（縦位置）  
クレジット不要



『変態だ』  
©松竹ブロードキャスティング

<ご使用にあたってお願い>

- ※広報用画像の使用は、本展覧会ご紹介のみに限り  
ます。その他用途での使用はご遠慮ください。
- ※トリミングはご遠慮いただき、キャプション等の  
文字が画像にかぶらないようご配慮ください。
- ※広報用画像を掲載する際は、各画像のキャプショ  
ン、クレジットを必ずご記載ください。

【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 鋒山(ほこやま)・坂下・石澤

TEL : 044-754-4500 (休館日を除く 9:30~17:00) FAX : 044-754-4533

MAIL : pr\_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <http://www.kawasaki-museum.jp/>

\* 指定管理者 : アクティオ・東急コミュニティー共同事業体